

# 輪中

みんなで・じもと・じまん

この場所で暮らしてきた、住民の知恵。



本戸地区 輪中堤の桜



輪之内町の特徴的な風景

輪中とは、川に囲まれたデルタ地帯をいいます。たびたび洪水に襲われる場所でありながら、ここに耕地をひろげ、人が住みついたのは、川によってもたらされる肥沃な土壌と枯れることのない豊かな水資源があるからでした。洪水により水とともに山の方から栄養豊富な土や砂が運ばれてくるので、水が引いた洪水の次の年はいつもの二倍ほどの作物が収穫されたといわれています。このような場所は、全国を見渡しても、この辺り、つまり木曾三川周辺にしかありません。現在は河川の改修が進み、水害は見られなくなっているのですが、昔の名残が残っていて、輪中にしかない珍しい景観があちこち見られます。水害から守る堤防が築かれ、屋敷は地域内の高い所に建てられています。なかでも特徴的なのは、水屋です。もともと石積みにして周囲よりも高台にした土地に母屋が建っていますが、水屋はさらに一段と高い石積みの上に建てられています。これは、水害で母屋が浸水することを想定したもので、水屋には、寝具や衣類、食料などが備蓄され、洪水時には水が引くまで生活したそうです。自然に勝つことはできないが、人の命だけは守り抜く。輪中には、今でこそ 学ぶべき防災意識を見つけることができます。



水屋

## 輪中にしかない風景。

輪中とは、川に囲まれたデルタ地帯をいいます。たびたび洪水に襲われる場所でありながら、ここに耕地をひろげ、人が住みついたのは、川によってもたらされる肥沃な土壌と枯れることのない豊かな

水資源があるからでした。洪水により水とともに山の方から栄養豊富な土や砂が運ばれてくるので、水が引いた洪水の次の年はいつもの二倍ほどの作物が収穫されたといわれています。

このような場所は、全国を見渡しても、この辺り、つまり木曾三川周辺にしかありません。現在は河川の改修が進み、水害は見られなくなっている



# エコツー

41

エコムつうしん 41号 -4月号-

## 里山 -SATOYAMA-

- ここが知りたい！エコムちゃん「岐阜県百年公園」
- みんなで・じもと・じまん「輪中」



エコムちゃん

「エコツー」は、地域から地球まで、持続可能な社会を考えるコミュニティペーパーです。



平成27年4月発行

発行：エコムカワムラ株式会社 岐阜県安八郡輪之内町里85番地の3

TEL 0584-68-2033 (代)

制作：Ishii Design TEL&FAX：042-973-4004 mail@ishii-design.info

※表紙のイラストは「廃材」を使用しています。今月は「ダンボール」で「桜」をつくりました。

《再生紙を使用》



ここが知りたい!  
エコムちゃん

学ぶ

遊ぶ

働く

オススメ!  
菖蒲まつり(6月初旬~7月初旬)  
オータムフェスティバル(10月)

# 里山 -SATOYAMA-

最近、方々で注目を集めている里山。  
テレビの番組などでも、たびたびクローズアップされてるし、  
里山体験をテーマとしたツアーが人気となっている。

里山とは、どんなところをそう呼ぶのだろうか?  
里は、大自然に対しては「人の住むところ」であり、  
都会に対しては、「田舎」という意味もある。  
大自然と都市の中間に位置するような場所なのだろう。

「日本昔ばなし」の舞台になりそうな・・・  
人が身近な自然を利用しながら住んできた  
昔はどこにでもあった空間が、今はとっても貴重となった。  
  
その価値は、ただ心地良いというだけではないようだ。  
「お金に換算できない価値が眠るところ」  
というエコノミストもいるし、  
「人と生き物が共に暮らすところ」  
という写真家もいる。  
これからの暮らしを考えるヒントが、  
ここには詰まっているのかもしれないね。



**里山資本主義**

何でもお金によって手に入れるのではなく、採集してくるか、物々交換するとか、自分の手で育てるとかして調達してはどうかという考え方。「マネー資本主義」の反対語として作られた造語です。これによって、日本経済の再生が万事図れるというものではないのかもしれませんが、里山資本主義の発想を採り入れることは、持続可能で豊かな社会を作り上げていくムーブメントと なっています。



## 岐阜県百年公園

百年公園って、名前がいいよね。昭和46年に迎えた置県百年を記念して建設されたんだ。広さもちよど100haあって、園内には、岐阜県中濃地方によく見られる里山林が広がり、多様な種類の動植物を見ることができるとし、里山をイメージしているだけあって、春の新緑や桜、秋の紅葉がきれい。特に初夏に咲く菖蒲は必見。100種、2万株の菖蒲が育ち、名所になっているよ。

休日には、自然観察会や標本づくり、各種講座など、おとなからこどもまで楽しめるイベントが実施されているので、参加してみるのもいいね!

里山の自然が残る「岐阜県百年公園」に行ってきたよ。



旧徳山村から古民家が移設されています。

岐阜県百年公園  
岐阜県関市小屋名 1966 TEL 0575-28-2166  
岐阜県博物館  
岐阜県関市小屋名 1989 TEL 0575-28-3111



木製遊具など、子どもの遊び場が点在しています。



道標がしっかりしていて、気軽に自然に親しめます。



里山に親しんだら、園内にある「岐阜県博物館」へ。



トイレが木の切り株の形になっています。



北口を入ってすぐにある噴水広場。



菖蒲とともに、里山の景色を楽しめます。